

1. サービス概要

IDC フロンティアが自社データセンターで運営する大規模なコンピューティングリソースを必要な時に必要な処理能力だけを瞬時に利用できる IaaS 型クラウドサービスです。HA 機能搭載の仮想マシンからハードウェアを専有できる仮想マシンなど様々なシステムの性能やコストの要求を満たせる多様なリソースが用意されています。また、サーバー性能を発揮できる大容量・高速ネットワークを備え、ビジネスのスタートアップから大規模なウェブサービスまで一貫して使い続けられるサービスです。

2. サービス提供内容

2.1 基本サービス

サーバー/ストレージ	ネットワーク	サービス管理	サービス運用保守	その他
仮想マシン OS ボリューム テンプレート スナップショット ISO アーカイブデータ	インターネット接続 プライベートネットワーク IP アドレス 仮想ルーター ファイアウォール ロードバランサー リモートアクセス VPN	クラウドコンソール マルチユーザー GUI コンソール API	提供地域 サポート	NTP サーバー

3. サービス仕様/料金

3.1 サーバー/ストレージ

3.1.1 仮想マシン

多様なサーバー用途に合わせた仮想マシンタイプをご用意しています。仮想マシンはサーバー負荷状況に合わせ、他の仮想マシンタイプに変更することで瞬時にスケールアップ/ダウンが可能です。スケールアップは仮想マシンを無停止で実施可能です。(本機能に対応した OS に限ります)

■低コストタイプ

高い CPU 性能を要求しないサーバー向け仮想マシン。管理サーバーや踏み台サーバーなどのコストをかけずに構築したいサーバーに最適です。

タイプ	仮想コア		メモリ容量	帯域	HA 機能	従量料金 (1 時間当たり)		月額上 限料金
						起動時間	停止時間	
light.S1	1	0.8GHz 相当	1GB	2Gbps	有り	¥0.40	¥0	¥200
light.S2		1.6GHz 相当	2GB			¥2.90	¥0	¥1,400

※2015 年 10 月 21 日付の仕様変更により、旧 light.S2 (クロック数 0.8GHz 相当/従量料金¥6.60/月額上限料金 ¥3,200) の販売は終了しました。

■標準タイプ

CPU とメモリ容量のバランスが取れた標準的なスペックの仮想マシン。Web サーバー等の汎用的な利用に最適です。

タイプ	仮想コア		メモリ容量	帯域	HA 機能	従量料金 (1 時間あたり)		月額上限 料金
						起動時間	停止時間	
standard.S4	1	2.4 GHz 相当	4GB	2Gbps	有り	¥11.00	¥0	¥5,300
standard.S8	1		8GB			¥18.00	¥0	¥8,800
standard.M8	2		8GB			¥30.00	¥0	¥14,500
standard.L16	4		16GB			¥60.00	¥0	¥29,000
standard.XL32	8		32GB			¥120.00	¥0	¥58,000

■HighCPU タイプ

高い CPU 性能やコア数を必要とするサーバー向け仮想マシン。解析やシミュレーション等の CPU 負荷の高いサーバーに最適で、CPU 当たりの単価が割安なタイプです。

タイプ	仮想コア		メモリ容量	帯域	HA 機能	従量料金 (1 時間あたり)		月額上限 料金
						起動時間	停止時間	
highcpu.M4	2	2.6GH z 相当	4GB	2Gbps	有り	¥19.00	¥0	¥9,200
highcpu.L8	4		8GB			¥38.00	¥0	¥18,300
highcpu.XL16	8		16GB			¥76.00	¥0	¥36,600
highcpu.2XL32	16		32GB			¥152.00	¥0	¥73,200

■HighMem タイプ

高いメモリ容量を必要とするサーバー向け仮想マシン。分散メモリキャッシュやインメモリ処理などのサーバーに最適で、メモリ当たりの単価が割安なタイプです。

タイプ	仮想コア		メモリ容量	帯域	HA 機能	従量料金 (1 時間あたり)		月額上限 料金
						起動時間	停止時間	
highmem.M16	2	2.2GH z 相当	16GB	2Gbps	有り	¥31.00	¥0	¥15,000
highmem.L32	4		32GB			¥62.00	¥0	¥30,000
highmem.XL64	8		64GB			¥124.00	¥0	¥60,000

3.1.2 ハードウェア専用マシン

物理機器を他のユーザーと共有しないハードウェア専用型のサーバーリソースです。1台の物理サーバーに1台の仮想マシンを搭載しているため、サーバー処理性能の専有や共有環境にデータを保存できない利用に最適です。

■HighIO タイプ

フラッシュディスクを搭載したハードウェア専用型の仮想マシンです。大容量のローカルディスクや超高速 I/O 処理を必要とするデータベースに最適です。

タイプ	ソケット数	仮想コア		メモリ容量	帯域	HA機能	ディスク容量	従量料金(1時間当たり)*1	月額上限料金
highio.3XL128*2	1 (1CPU)	24	2.5GHz相当	128GB	5Gbps	無し	SSD 2100GB *3 *4	¥203.00	¥98,000
highio.5XL128*2 *5	2 (2CPU)	40	2.5GHz相当	128GB	5Gbps	無し	PCIe SSD 900GB *3 *4	¥370.00	¥179,000

*1: HighIO タイプは仮想マシンの起動・停止に関わらず、削除するまで従量料金がかかります。

*2: リソース状況によっては一部提供できないゾーンがあります。

*3: 利用可能なディスク容量はルートディスクおよびデータディスクの合計となります。ルートディスクは最大 100GB となります。

*4: SSD を搭載したマシンタイプのご利用に際しては「5.7 ご利用上の制限および注意事項」をご確認ください。

*5: highio.5XL128 は SanDisk 社の ioMemory PX Series(ioDrive 後継機)を搭載しています。

■GPU BOOST タイプ

GPU を搭載した高速な演算能力を持ったハードウェア専用型の仮想マシンです。GPU リソースを専有して利用できるためデープラーニング向けに最適です。

タイプ	ソケット数	仮想コア		メモリ容量	帯域	HA機能	ディスク容量	従量料金(1時間当たり)*1	月額上限料金
gpu.7XLM40*2	2 (2CPU)	56	2.5GHz相当	256GB	5Gbps	無し	SSD 2100GB *3*4	¥400.00	¥198,000
gpu.7XLP100*2	2 (2CPU)	56	2.5GHz相当	256GB	5Gbps	無し	SSD 2100GB *3*4	¥440.00	¥220,000

*1: GPU BOOST タイプは仮想マシンの起動・停止に関わらず、削除するまで従量料金がかかります。

*2: 東日本リージョン 2 のみの提供となり、リソース状況によっては一部提供できないゾーンがあります。

*3: 利用可能なディスク容量はルートディスクおよびデータディスクの合計となります。ルートディスクは最大 100GB となります。

*4: SSD を搭載したマシンタイプのご利用に際しては「5.7 ご利用上の制限および注意事項」をご確認ください。

搭載 GPU スペック

タイプ	GPU モデル	GPU 搭載枚数	GPU コア	GPU メモリ
gpu.7XLM40	Tesla M40	1	3,072 コア(NVIDIA CUDA)	24GB
gpu.7XLP100	Tesla P100	1	3,584 コア(NVIDIA CUDA)	16GB

3.1.3 OS

無料の Linux 系 OS から Windows Server まで様々な OS インストール済みの標準テンプレートをご利用いただけます。本サービスに最適な設定がされているため、すぐに利用可能です。詳細は以下をご覧ください。また、Linux 系の標準テンプレートは SSH 鍵の自動生成やインポートに対応し、鍵の管理もできるため簡単に認証機能が導入できます。

■標準テンプレート一覧

項目	単位	従量料金 (1時間あたり)	月額上限 料金	
CentOS/Ubuntu Server/Debian/VyOS	台	無料	-	
Windows Server Standard Edition/Windows Server Enterprise Edition	台	¥24.00	¥12,000	
Windows Server Standard Edition/Windows Server Enterprise Edition + SQL Server Standard Edition	1-4 コア	台	¥100.00	¥50,100
	8 コア	台	¥176.00	¥88,200
	16 コア	台	¥328.00	¥164,400
	24 コア	台	¥483.00	¥241,800
	40 コア	台	¥783.00	¥393,000
	56 コア	台	¥1083.00	¥542,000
Red Hat Enterprise Linux	1-4 コア	台	¥13.00	¥6,500
	上記以外	台	¥28.50	¥14,300

※有償テンプレートは仮想マシンの起動・停止にかかわらず、削除するまで従量料金がかかります。

※標準テンプレートのルートディスク容量は「15GB」になります。ただし、Windows Server OS (有償ライセンス) の場合は、「80GB」になります。

※GPU BOOST タイプ (gpu.7XLP100) は専用テンプレートとなります。標準テンプレートから gpu.7XLP100 を作成することはできません。また、gpu.7XLP100 から作成したマイテンプレートは、gpu.7XLP100 以外の仮想マシンの作成にはご利用いただけません。専用テンプレートはこちら (https://www.faq.idcf.jp/app/answers/detail/a_id/707/c/14) をご覧ください。

※標準テンプレートおよび専用テンプレートは適時アップデートおよび削除されますのでご注意ください。

※テンプレートをカスタマイズした場合は、お客さまのアーカイブストレージ容量に応じて利用料がかかります。

ライセンスの持ち込み

※マイクロソフト社の Windows Server や SQL Server およびレッドハット社の Red Hat Enterprise Linux をご利用いただく場合は、当社提供のライセンスをご利用いただく必要があります。ただし、以下の場合においてはお客さまが購入されたライセンスの持ち込みが可能です。

※当社はマイクロソフト社のモビリティパートナーに認定されています。お客さまがソフトウェアアシュアランスによるライセンスモビリティ対象のライセンスを保有されている場合は、本サービスでご利用いただくことが可能です。

詳しくはこちら (<https://www.microsoft.com/ja-jp/Licensing/licensing-programs/spla-program.aspx>) をご覧ください。

※当社は、Red Hat 認定クラウド&サービスプロバイダーです。クラウドアクセス (Red Hat Cloud Access) を利用し、現在お使いのサブスクリプションを当社へ移行することが可能です。Red Hat Enterprise Linux のサブスクリプション持ち込みについてはこちら (<https://www.idcf.jp/pdf/cloud/RedHat.pdf>) をご覧ください。

※使用許諾されたソフトウェアを仮想マシンに持ち込まれる場合、必ずライセンス提供元のライセンス規程をご確認ください。ライセンス数の算定にサービス設備の構成情報が必要になる場合があります。必要な情報については当社までお問い合わせください。

SQL Server Standard Edition ご利用上の注意

SQL Server Standard Edition は標準で認識できる CPU に関する注意事項があります。ご利用に際しては以下をご確認ください。

<https://www.faq.idcf.jp/app/answers/list/st/5/kw/SQL%20Server/c/22/page/1/search/1>

■ 対応する認証機能

項目	認証
Linux 系 OS	SSH 鍵認証
Windows Server	パスワード認証

3.1.4 ボリューム(仮想マシン用ディスク)

■ ルートディスク

仮想マシン作成と同時に作成され、OS が稼働するディスク領域です。

■ データディスク

仮想マシンにストレージデバイスとしてアタッチして利用し、仮想マシンのデータ保存領域として利用します。データディスクは以下の 2 つのタイプがあります。

<共有ディスク>

ハードウェア専用マシンを除く仮想マシンタイプで利用できるディスクです。複数の仮想マシンで共有する高性能ストレージで稼働するデータ保存領域です。アタッチする仮想マシンを変更すればデータを簡単に移動できます。(複数の仮想マシンで同時に共有することはできません)

<ローカルディスク>

ハードウェア専用マシンの仮想マシンのみ利用できるディスクです。仮想マシンが専有する物理サーバーのローカルストレージ上に作成するデータ保存領域で、共有ディスクよりも低遅延でアクセスできます。

■低コストタイプ/標準タイプ/HighCPU タイプ/HighMem タイプ

リージョン	形式	容量 (1 ディスク当たり)	種別 (I/O 性能)	単位	従量料金 (1 時間当たり)	月額上限 料金
東日本 1	ルートディスク	1GB～1000GB*2	フラッシュディスク/ ハードディスク*3 (中速)	GB	¥0.04	¥20.00
			フラッシュディスク (高速[上])			
	データディスク*1 (共有ディスク)		フラッシュディスク/ ハードディスク*4 (高速 [中])			
			フラッシュディスク (高速[上])			
東日本 2/ 西日本	ルートディスク	データディスク*1 (共有ディスク)	フラッシュディスク (高速[上])			

■HighIO タイプ/GPU BOOST タイプ

リージョン	形式	容量 (1 ディスク当たり)	種別 (I/O 性能)	単位	従量料金 (1 時間当たり)	月額上限 料金
東日本 1	ルートディスク	100GB*2	フラッシュディスク (超高速[中])*4	-	-*5	-
	データディスク*1 (ローカルディスク)	800GB～2000GB *3				
東日本 2 /西日本	ルートディスク	100GB*2	フラッシュディスク (超高速[上])*4			
	データディスク*1 (ローカルディスク)	800GB～2000GB *3				

*1: 仮想マシンを削除した場合、データディスク(ローカルディスク)が削除されます。詳細はこちらをご覧ください。

(https://www.faq.idcf.jp/app/answers/detail/a_id/127/c/1)

*2: テンプレートから仮想マシンを作成する場合には仮想マシンタイプやテンプレートの種類により 15GB～100GB で作成されます。詳細はこちら(<https://www.idcf.jp/cloud/spec/os.html>)をご覧ください。

*3: ハードウェア専用マシンの場合、仮想マシンタイプによりデータディスクの容量が予め決められています。詳細は「3.1.1 仮想マシン」をご覧ください。

*4: HighIO タイプ、GPU BOOST タイプは搭載するハードウェアにより性能が異なります。

*5: 仮想マシン利用料金に含まれます

※ ルートディスクは初回作成時の容量を変更できません。

※記載している料金は全て税抜価格になります

3.1.5 テンプレート

構築済みサーバーをテンプレート化し、そのテンプレートから仮想マシンを作成することで、同じ設定のサーバーを簡単に増設することができます。また、テンプレートのインポートやエクスポートにより、テンプレートのバックアップや異なるアカウントで共有することができます。さらに、お客様が作成されたテンプレートを公開することで、別のお客様がこのテンプレートから仮想マシンを作成することができます。

■マイテンプレート

お客様がカスタマイズされたテンプレートを利用して仮想マシンを作成できます。マイテンプレートは設定済みの仮想マシンや仮想マシンのルートディスクのスナップショットから作成できます。また、テンプレートはインポートやエクスポートが可能です。

<インポート機能>

OVA (open virtual appliance/application) フォーマットに対応したファイルをインポートし、テンプレートとして利用することができます。OVA ファイルはインターネット (http) からダウンロード可能な任意の場所に設置いただく必要があります。

<エクスポート機能>

お客様で作成されたテンプレートを OVA ファイルとしてダウンロードすることが可能です。エクスポート時に一定期間有効なダウンロード URL を発行するため、お客様端末にファイルを保存しなくても、異なるアカウントにテンプレートを配布できます。

項目	単位	従量料金 (1 時間あたり)	月額上限 料金
テンプレート作成/インポート/エクスポート*1	-	無料	-
テンプレート保存	GB	¥0.06	¥30.00

*1: 有料ライセンスを含むテンプレート等、エクスポートできない場合があります。詳しくはこちらをご覧ください。

(https://www.faq.idcf.jp/app/answers/detail/a_id/149/c/22)

※ テンプレート作成やインポートしたマイテンプレートはアーカイブデータ領域に保存され、実ディスク容量に応じた料金がかかります。

■コミュニティテンプレート機能

お客様が作成されたテンプレートを IDC F クラウドの他のお客様等が利用できるように公開したり、他のお客様等やパートナー企業が提供するテンプレートを利用したりすることができます。*1

*1: コミュニティテンプレートの公開を行う場合は、当社が定める「コミュニティテンプレート発行規約」に同意が必要となります。また、コミュニティテンプレートのご利用にあたっては、「コミュニティテンプレート利用規程」(クラウドサービスに関する契約約款付属文書 F) に同意が必要となります。

<コミュニティテンプレート発行者登録>

コミュニティテンプレートを公開する場合は、あらかじめ「コミュニティテンプレート発行者登録」が必要となります。発行者名、連絡先、発行者に関する説明などの情報をご登録頂きます。

<コミュニティテンプレートの公開>

コミュニティテンプレート発行者登録により、「マイテンプレート」に保存されたお客様のテンプレート*2 を IDC F クラウド利用の他のお客様に公開が可能になります。公開にあたっては、テンプレートの名称、バージョン、概要、説明など所定の必要事項をご登録頂きます。

*2: ライセンス上、持込みまたは再配布が禁止されている OS、ソフトウェアを含むテンプレート公開を禁じます。持込みまたは再配布が禁止されたテンプレートを公開した場合、ライセンサーおよびエンドユーザーに対する全ての責任はテンプレート発行者が負うものとなります。

※記載している料金は全て税抜価格になります

<コミュニティテンプレートの利用>

コミュニティテンプレートを利用する場合は、「コミュニティテンプレート一覧」から利用したいテンプレートを選択し、仮想マシンを作成します。

項目		従量料金 (1時間あたり)	月額上限 料金
コミュニティ テンプレート	テンプレート発行者登録	無料	-
	コミュニティテンプレート公開/保存(5つまで)*1		
	コミュニティテンプレートの利用	無料*2	-

*1: 公開/保存できるコミュニティテンプレートの数は1アカウントあたり1リージョンにつき最大5つまでとなります。また、一つのコミュニティテンプレートの割り当てサイズは最大100GBを上限とします。テンプレート数、割り当てサイズの上限を超えてのご利用はできません。

*2: コミュニティテンプレートは無料で利用できますが、作成された仮想マシン及びボリューム(仮想マシンディスク)等個々のサービス、アプリケーション(OSS等無償のものを除きます。)については、そのサプライヤーが定めたそれぞれの利用規約等に基づく料金がかかる場合があります。また、コミュニティテンプレートに当社が提供する有償テンプレート(OS等)が含まれる場合は、当社が定めるテンプレート利用料金がかかります。

3.1.6 スナップショット

ある時点のボリュームの状態を一時的に保存し、ルートディスクから仮想マシンのテンプレートや、データディスクからその複製を作成することができます。スナップショットは仮想マシンを停止せずに取得することが可能です。

※ハードウェア専有マシンのルートディスクのスナップショット取得は仮想マシンの停止が必要です。またデータディスクはスナップショットを取得することができません。

項目	単位	従量料金 (1時間あたり)	月額上限 料金
スナップショット作成	-	無料	-
スナップショット保存	GB	¥0.06	¥30.00

※ 作成したスナップショットはアーカイブデータ領域に保存され、割当ディスク容量に応じた料金がかかります。

3.1.7 ISO

ISOイメージをインポートしておくことで、任意のOSからルートディスクサイズを指定して仮想マシンを作成できます。また、ISOは仮想マシンにISOマウントし、任意のソフトウェアをインストールできます。

項目	単位	従量料金 (1時間あたり)	月額上限 料金
ISOインポート	-	無料	-
ISO保存	GB	¥0.06	¥30.00

※ インポートしたISOはアーカイブデータ領域に保存され、実ディスク容量に応じた料金がかかります。

3.1.8 アーカイブデータ

スナップショット/テンプレート/ISOのデータを保存するための専用のストレージ領域です。お客様の任意のデータを保存することはできません。詳細は「3.1.4 テンプレート」、「3.1.5 スナップショット」、「3.1.6 ISO」をご覧ください。

※記載している料金は全て税抜価格になります

3.2 ネットワーク

3.2.1 インターネット接続

本サービスの上位ネットワークは大容量・高速バックボーンネットワークに 160Gbps 以上で接続しており、単一障害点のない完全冗長化ネットワークをご利用いただけます。バックボーンネットワークに関する最新情報は以下をご覧ください。

<https://www.idcf.jp/network/backbone/>

■従量プラン(標準)

通信区間		単位	従量料金	無料分
インターネットとの接続*1		GB	10.00 円	月間 3,240GB*2
異なるゾーン間の通信				
異なるリージョン間の通信				
同一ゾーン内*1	異なる仮想ルーター間の通信	-	無料	-
	仮想ルーター配下のネットワーク内の通信			

*1: 本サービスへのデータ転送(INトラフィック)は無料です。

*2: 従量料金の対象となるすべてのネットワーク転送量の合計に無料分が適用になります。また、複数ゾーンを利用している場合はゾーン毎に無料分が適用になります。

■ネットワーク定額(オプション)

帯域上限*1	単位	月額料金
100Mbps(帯域保証)	ネットワーク	¥30,000

*1: ネットワーク定額をご利用になると帯域上限が設定されます。

3.2.2 プライベートネットワーク

ゾーン毎に標準で 1 つのプライベートネットワークがご利用いただけます。お客様専用のプライベート空間として利用することができ、構築中のサーバーやセキュリティアップデート前のサーバーなど、一時的でも他のお客様やインターネットに公開したくないお客様に最適です。

項目	単位	アドレス プリフィックス	従量料金 (1時間当たり)	月額上限 料金
標準ネットワーク	1 ネットワーク	/21	無料	-
追加ネットワーク*1	1 ネットワーク	/21~/26	¥20	¥10,000

*1: 追加できるネットワークは 5 つまでとなります。

3.2.3 IP アドレス

プライベート IP アドレスは仮想マシンに割り当てられ、仮想マシン間の通信に利用します。パブリック IP アドレスは仮想ルーターに割り当てられ、インターネット等の仮想ルーターを経由した外部との通信に利用します。

■ソース IP アドレス

仮想ルーターに割り当てられるパブリック IP アドレス。仮想マシンからインターネット向けの通信に利用します。

■追加パブリック IP アドレス

特定の仮想マシンと通信するためのポートフォワーディング、スタティック NAT、ロードバランシング用の IP アドレスを追加できます。追加したパブリック IP アドレスはお客様で任意のタイミングで取得・解放が可能です。

項目		単位	従量料金 (1 時間当たり)	月額上限 料金
プライベート IP アドレス		-	無料	-
パブリック IP アドレス*1	標準(ソース IP アドレス)*2	1 個	無料	-
	追加	1 個	¥1.0	¥500

*1: ソース IP アドレスは仮想マシンが長期間作成されていない場合は 3 ヶ月を過ぎると削除される場合があります。削除された場合、再度利用するにはリナンバリングします。

*2:仮想ルーター毎にソース IP アドレス(1 個)が無料で利用できます。

3.2.4 仮想ルーター

アクティブ/スタンバイ構成の仮想ルーターにより、インターネットとの接続が冗長化されたお客様専用ネットワークをご利用いただけます。仮想ルーターを経由したインターネットとの通信はパブリック IP アドレスの NAT 接続を利用します。

仮想コア		メモリ容量	帯域	HA 機能	料金
2	2.4GHz 相当	2GB	2Gbps	有り	無料

項目		詳細
HA 機能		アクティブ/スタンバイ構成
外部との接続	内部→外部	ソース NAT 又は スタティック NAT
	外部→内部	ポートフォワーディング又はスタティック NAT ※上記以外にロードバランシングが可能です。詳細は「ロードバランサー」をご覧ください。

3.2.5 ファイアウォール

外部ネットワークからの不正アクセスからシステムを守るため、送信元 IP アドレスにより必要な通信のみを許可し、不要な通信を遮断することができます。

項目	料金
ファイアウォール機能	無料

項目	詳細	
HA 機能	アクティブ/スタンバイ構成	
デフォルトポリシー	Inbound	All Deny
	Outbound	All Accept

※ VPN を有効化すると通信に必要なポリシーが自動的に追加されます。詳細は「VPN(リモートアクセス VPN)」をご覧ください。

3.2.6 ロードバランサー

外部ネットワークからのアクセスを配下のサーバーに負荷分散させることができます。また、DB 等の内部ロードバランシングとしても利用することができます。

項目	料金
ロードバランサー機能	無料

項目	詳細	
HA 機能	アクティブ/スタンバイ構成	
分散方式	ラウンドロビン ※分散対象の仮想サーバーに順番にアクセスを振り分けます。 リストコネクション ※最も少ないセッションの仮想サーバーにアクセスを振り分けます。 ソース IP ハッシング ※送信元 IP アドレス毎に同じ仮想サーバーにアクセスを振り分けます。	
ヘルスチェック	方式	TCP
	間隔	2 秒
	しきい値	失敗 3 回

3.2.7 VPN(リモートアクセス VPN)

リモートクライアントから仮想ルーターに VPN 接続することが可能です。VPN ユーザーは管理画面で自由に作成・削除可能です。

項目	料金
VPN 機能	無料

項目	詳細
プロトコル	L2TP over IPsec *1
認証方式	Pre-shared key *2
同時接続	可能 ※ただし、ソース IP アドレスが同じ場合は接続できません

※ 接続するクライアント機器やその設定により接続できない場合があります。

*1: VPN を有効化するとファイアウォールに udp4500/1701/500 が自動的に追加されます。また、VPN を無効化すると自動的に追加されたポートのみが自動的に削除されます。

*2: 暗号鍵は自動生成されるため、お客様にて任意の設定はできません。

3.3 サービス管理

3.3.1 クラウドコンソール

サーバーを構成するハードウェアリソース(CPU、メモリ、ストレージ)をインターネット経由で提供し、サーバーの構築、管理などを行える HTTPS 通信に対応した Web 管理画面をご利用いただけます。

管理機能	機能概要
アカウント管理	アカウント情報、ユーザー情報、ログイン情報の管理、SSH 鍵管理、マルチユーザー管理、アクセスログの管理
予算管理	利用料金の予算設定及びしきい値の設定によるメール通知
リソース管理	仮想マシン、ボリューム、スナップショット、IP アドレス、テンプレート、ISO の作成・削除などのリソース管理、リソース操作やアカウントステータスに関するログの管理
利用明細	利用料金明細の表示やダウンロード、支払履歴、支払方法の管理
サポート	サービス稼働状態の確認、メンテナンス情報の確認、サポートへの問い合わせとその履歴管理、サービス FAQ

3.3.2 アカウント

本サービスのご契約者に 1 アカウントをご提供します。

3.3.3 マルチユーザー

本サービスでは以下のユーザーをご利用いただけます。

ユーザータイプ	想定利用者	権限概要	作成可能数
マスターユーザー (Master User)	アカウント/システム 管理者	クラウドコンソールの全ての操作・機能および API の利用が可能	1 ユーザーのみ ※アカウント作成時に作成されます
パワーユーザー (Power User)	サーバー管理者	ユーザー作成機能を除く、クラウドコンソールの基本的な操作・機能および API の利用が可能	合計 100 ユーザーまで追加可能
一般ユーザー (User)	サーバー運用担当者	クラウドコンソールのリソース管理操作・機能および API の利用が可能。ただし、オプションサービスの申込みや利用明細等の操作および閲覧ができない	
ビルディングユーザー (Billing User)	支払/請求担当者	利用明細等の閲覧および一部の操作が可能。ただし、クラウドコンソールのリソース管理操作および閲覧ができない	

■操作権限概要およびメール通知

<https://www.idcf.jp/cloud/spec/multi-user.html>

3.3.4 GUI コンソール

クラウドコンソール画面から仮想マシンにコンソール接続が可能です。サーバーが高負荷により SSH 接続ができない場合や仮想マシンが外部ネットワークからの到達性がない場合に仮想マシンを操作することができます。

3.3.5 API

仮想化基盤として CloudStack を採用し、世界で広く利用されているオープンソースの CloudStack API を公開しています。仮想マシンの作成・削除、スナップショットの取得やボリュームの追加、リソースのオートスケーラ(自動拡張・縮退)など、クラウドコンソールを経由せずに外部プログラムから API 経由でクラウドリソースを柔軟にコントロールできます。ユーザーはユーザーごとに発行された User Key を用いて API 認証を行います。また、API コールを実行できる IP アドレス制限も設定することが可能です。

<https://www.idcf.jp/cloud/spec/api.html>

3.3.6 2段階認証

クラウドコンソールにログインする際に ID/パスワードに加え、追加の認証コードを必要とする2段階認証が利用できます。2段階認証を利用することで ID/パスワードが盗難や流出した場合でも、2段階目の認証によりセキュリティを強化することができます。また、マルチユーザー機能を利用している場合はマスターユーザーが他ユーザーに2段階認証を必須で設定することができ、アカウント全体のセキュリティをコントロールできます。

認証方法	対応端末	バックアップコード*1	認証間隔	料金
アプリ	Google Authenticator 対応端末*2	利用可能	都度、もしくは 30 日毎	無料

*1: アプリによる認証コードが確認できない状況でも事前にバックアップコードを用意しておくことでログインが可能です。

*2: iOS/Android 端末等が対象になります。詳細は下記 URL をご覧ください。

※記載している料金は全て税抜価格になります

<https://support.google.com/accounts/answer/1066447?hl=ja>

IDC フロンティアでは Google Authenticator に関する動作保証や問い合わせを受け付けることはできません。

3.3.7 ログイン IP 制限

クラウドコンソールにログインできる IP アドレスを制限することができます。ログイン IP 制限を利用することで ID/パスワードが盗難や流出した場合でも、ログイン元の IP アドレスから悪意のあるログインを防ぐことができ、セキュリティを強化することができます。

3.3.8 アクセスログ

クラウドコンソールにアクセスした履歴を残すことができます。アクセスした日時、アクセスしたログイン ID、ログイン結果、アクセス元のリモート IP アドレスを確認することができます。このログは過去 3 年以上分を保管します。

3.4 サービス運用保守

3.4.1 ロケーション

複数のエリアまたはリージョン上に1つのシステムの構築することで、物理的な冗長化や負荷分散などのシステムの可用性を高めることができます。また、異なるエリアを利用することで外部インターネット接続を分離することができます。

■エリア

物理的に離れたエリアにあるデータセンターを利用し、電力事業者や外部インターネット接続などのリソース提供設備が分散されるため、大規模障害の影響を受けにくくなります。

■リージョン

サーバーやストレージなどの仮想化基盤の物理設備、サービス管理システムが分散され、リージョン間で仮想マシンやアーカイブデータ領域の物理冗長が可能となります。

■ゾーン

仮想マシンを構成するサーバー、ストレージ、それらを収容するラック、電源に至るまで、物理的な設備がゾーン毎に分散され、ゾーン間で仮想マシンの物理冗長が可能となります。

※ ゾーン毎のリソースが逼迫した場合、任意のゾーンを利用できないことがあります

※ ゾーンはリージョン内に設置されます。ゾーン情報はこちら(https://www.idcf.jp/cloud/spec/region_zone.html)ご確認ください。

本サービスは以下のロケーションで提供されます。

エリア	リージョン	データセンター	所在地	電力供給事業者
東日本エリア	東日本リージョン 1 東日本リージョン 2	白河データセンター	福島県白河市	東北電力
西日本エリア	西日本リージョン	北九州データセンター	福岡県北九州市	九州電力

3.4.2 利用可能なサービス

本サービスで利用可能な当社サービスおよび連携サービスの提供範囲は以下になります。

対象サービス			西日本リージョン	東日本リージョン 1	東日本リージョン 2
オブジェクトストレージ			○*1		
インフィニット LB			○	○*2	○
コンテンツキャッシュ			○		
DNS/GSLB			○		
RDB			○		
プライベート コネク	ゾーン間	L2 接続	×		
		L3 接続	○		
	リージョン間	L2 接続	×		
		L3 接続	○		
連携 サービス	Mackerel (サーバー監視) GrowthPush (プッシュ配信) SendGrid (メール配信) SmartBeat (クラッシュ検知) VAddy (脆弱性スキャン)		○		

*1: オブジェクトストレージの提供地域は東日本リージョンになります

*2: リソース状況によっては一部提供できないゾーンがあります

3.4.3 カスタマーサポート

■標準サポート

クラウドコンソールのサポートチケットを利用し、オンラインでサービスや不具合に関するお問い合わせができます。ダイアログ形式で表示し、過去の問い合わせのやりとりが簡単に確認できます。

■プレミアムサポート

クラウドコンソールからプレミアムサポートをご契約いただくと、標準サポートに加え、電話でのお問い合わせができます。電話によるお問い合わせはアカウント毎に発行された PIN コードを用い、本人確認を行います。

項目	月額料金
プレミアムサポート	¥5,000

※記載している料金は全て税抜価格になります

対応内容		標準サポート		プレミアムサポート(有料)	
		受付時間	対応時間	受付時間	対応時間
サービス 問い合わせ*1	電話	-	-	平日 9:00~17:00	平日 9:00~17:00
	メール			-	-
	オンライン サポート	24 時間 365 日	平日 9:00~17:00	24 時間 365 日	平日 9:00~17:00
障害連絡受付 及びその対応 *2	電話	-	-	平日 9:00~17:00	平日 9:00~17:00
	メール			-	-
	オンライン サポート	24 時間 365 日	24 時間 365 日*3	24 時間 365 日	24 時間 365 日*3

*1: サービス問い合わせに関しましては、土日・祝日、当社所定の休業日を除きます。

*2: 当社が障害を検知した場合は、指定された連絡先にメール、電話、当社所定のポータルサイトのいずれかで通知を行います。

*3: 当社がお客様に影響を及ぼさない事象と判断した場合を除きます。

※お問い合わせや障害連絡受付の応答時間および解決時間は、当該事象のセビリティ(深刻度)等に応じて異なる場合があります。
また、当社は当該事象の解決のために商業的に妥当と思われる努力を行いますが、あらかじめ特定の時間内に完了することを保証するものではありません。

3.5 その他のサービス・機能

3.5.1 NTP サーバー

本サービスでは共有の NTP サーバーが含まれています。仮想マシン上のホストが当社の NTP サーバーと時刻同期を行うことで、時刻の調整が可能です。(申し込み不要)

3.5.2 仮想ルーターへの Mackerel エージェントインストール

クラウドコンソールから仮想ルーターにはてな社が提供する Mackerel エージェントをインストールすることができます。これにより Mackerel から仮想ルーターのリソース状況をモニタリングすることができます。このモニタリング機能を利用するためには、お客様とはてな社との間で Mackerel に係る契約が必要になります。

3.5.3 その他

■クラウドコンソール以外からお申込が必要なサービス

項目	詳細
ベアメタルサーバー	仮想化していないサーバーハードウェア本来の性能をそのまま利用できる状態(ベアメタル)のサーバー。データベース処理など、I/O 負荷の高いサービス運用に威力を発揮します。 https://www.idcf.jp/cloud/baremetal/

4. 請求

4.1 料金計算

項目	詳細
サービス料金	<p>■従量タイプ 利用時間、データ使用量などに応じた料金をお支払いいただくタイプです。</p> <p>■月額上限付き従量タイプ 利用時間、データ利用量などに応じて料金が加算されますが、毎月、一定期間を超えると料金が月額上限額に達し、定額になるタイプです。</p> <p>■月額タイプ 利用時間、データ使用量などに関わらず、毎月定額の料金をお支払いいただくタイプです。</p>
消費税計算	請求サイクルにおけるサービス毎の料金に対して消費税を計算し、加算した額を請求します。税計算前の料金および税計算後の料金は 1 円未満の端数は切り捨てられます。
日割計算	<p>■従量タイプ/月額上限付き従量タイプ 日割計算の対象外になります。</p> <p>■月額タイプ サービスの利用を開始した月のサービス料金は、その利用日数に基づく日割計算を実施します。サービスの利用を終了した月のサービス料金は、その利用日数に関わらず、日割計算は行いません。</p>

4.2 請求サイクル

項目	詳細
請求サイクル	<p>■従量タイプ/月額上限付き従量タイプ 毎月1日から末日までの期間の利用状況に応じたサービス料金を請求します。</p> <p>■月額タイプ 毎月1日から末日までのサービス料金を請求します。 ※サービス利用開始月のご請求額は、4.1 に定める方法で日割計算した額となります。</p>

4.3 従量課金の仕組み

項目		課金タイプ	計算方法
仮想マシン		月額上限付き従量タイプ	<p>■低コストタイプ/標準タイプ/ハイ CPU タイプ/ハイメモリタイプ 作成後の仮想マシンを起動している時間に対して時間単価を掛け合わせて計算し、一定期間に達すると月額上限料金を適用します。</p> <p>■HighIO タイプ/GPU BOOST タイプ(ハードウェア専有マシン) 仮想マシン作成後から削除するまでの時間に対して時間単価を掛け合わせて計算し、一定期間に達すると月額上限料金を適用します。</p> <p>※仮想マシンを停止している時間も課金対象に含まれます。</p>
ソフトウェアライセンス		月額上限付き従量タイプ	有償のソフトウェアライセンスが含まれた仮想マシン作成後もしくはリサイズ(仮想マシンタイプ変更)から削除するまでの時間に対して時間単価を掛け合わせて計算し、一定期間に達すると月額上限料金を適用します。
ボリューム	ルートディスク	月額上限付き従量タイプ	ボリューム作成時の割当ディスク容量と利用時間に対して、時間単価を掛け合わせて計算し、一定期間に達すると月額上限料金を適用します。
	データディスク(追加ディスク)		
インターネット接続		従量タイプ	ネットワーク転送量の合計に、ネットワーク料金の単価を掛け合わせて計算します。 ※ネットワーク定額オプションで月額タイプに変更が可能です。
追加ネットワーク		従量タイプ	ネットワーク作成後から削除するまでの時間に対して時間単価を掛け合わせて計算し、一定期間に達すると月額上限料金を適用します。
アーカイブデータ		月額上限付き従量タイプ	<p>■スナップショット スナップショット作成時の割当ディスク容量とその利用時間に対して、時間単価を掛け合わせて計算し、一定期間に達すると月額上限料金を提供します。</p> <p>■テンプレート/ISO テンプレート/ISO 作成時の実ディスク容量とその利用時間に対して、時間単価を掛け合わせて計算し、一定期間に達すると月額上限料金を提供します。</p>
その他オプション	IP アドレス	月額上限付き従量タイプ	IP アドレス毎に利用した時間に対して、時間単価を掛け合わせて計算し、一定期間に達すると月額上限料金を適用します。

※ 従量課金のご利用時間(h)は厳密なご利用時間を計測し、利用料金を計算しています。(1 時間未満のご利用であっても 1 時間単位の時間の切り上げは行っていません)

4.4 料金支払

4.4.1 支払方法

支払方法	算定期間	請求日	支払期日
クレジットカード	毎月1日～末日	クレジットカード発行会社の規定に従います。	
銀行振込		利用月の翌月10日	請求書発行月の25日までに入金いただきます。
口座振替			請求書発行月の26日に自動引き落としします。

※3ヶ月以内に有効期限が切れるクレジットカードは利用できません。

※個人事業主のお客様のお支払方法はクレジットカードのみとなります。

※クレジットカードでのお支払いが高額になると決済ができない場合があります。高額のご利用が見込まれる場合は銀行振込または口座振替をご利用ください。

4.4.2 支払方法の変更

料金の支払方法は、以下の通り変更することが可能です。

変更後の支払方法	変更方法
クレジットカード	クラウドコンソールから支払方法の変更を実施し、クレジットカードの認証が完了した月の翌月以降の請求がクレジットカード払いになります。(クレジットカード変更も同様になります)
銀行振込	クラウドコンソールから支払方法の変更を実施し、ダウンロードした所定の申請書を当社に郵送いただく必要があります。当社が申請書を受理した月の翌月以降の請求から銀行振込になります。
口座振替	クラウドコンソールから支払方法の変更を実施し、ダウンロードした所定の申請書を当社に郵送いただく必要があります。当月20日までに当社が申請書を受理した場合、当月の翌月以降の請求から口座振替になります。(口座変更も同様になります)

4.5 支払遅延によるサービス停止

毎月のサービス料金のお支払いが確認できない場合はアカウントステータスが自動で変更され、サービス利用に関する下記の制限が行われます。

4.5.1 クレジットカードの場合

アカウントステータス変更条件	利用制限	アカウントステータス
毎月1日時点で、クレジットカードによる認証・決済ができない場合*1	ポータルサイトで仮想マシン作成等の有料操作および、作成済の仮想マシン操作が不可になります。	Active → Restrict
アカウントが制限(Restrict)された後、5日以内に有効なクレジットカードによる入金が行われない場合*1	起動中の全ての仮想マシンを停止します。	Restrict → Suspend
アカウントが制限(Suspend)された後、10日以内に有効なクレジットカードによる支払が行われない場合、または当社が指定する口座に入金が行われない場合	作成済の全ての仮想マシンを削除します。また、ポータルサイトへのログインが不可になります。	Suspend → Terminated

*1: 支払方法を変更し、利用可能なクレジットカードを登録し、未払分を決済していただくことで、利用制限が解除されます。

※記載している料金は全て税抜価格になります

4.5.2 銀行振込または口座振替の場合

アカウントステータス変更条件	利用制限	アカウントステータス
当社指定の支払期日までに当該月のサービス料金(満額)の入金確認ができなかった場合	クラウドコンソールで仮想マシン作成等の有料操作および、作成済の仮想マシン操作が不可になります。	Active → Restrict
当社指定の支払期日の翌月同日までに、当該月のサービス料金(満額)の入金確認ができなかった場合	起動中の全ての仮想マシンを停止します。	Restrict → Suspend
指定の支払期日の翌々月同日までに、当該月のサービス料金(満額)の入金確認ができなかった場合	作成済の全ての仮想マシンを削除します。また、クラウドコンソールへのログインが不可になります。	Suspend → Terminated

5. サービス提供条件

5.1 契約約款

契約内容	必要書類
利用契約	クラウドサービスに関する契約約款 https://www.idcf.jp/pdf/common/cloudservices.pdf
サービス仕様書	本書
重要事項	クラウドサービスに関する重要事項等説明書 https://www.idcf.jp/pdf/common/importantnotice.pdf
有償ライセンス	<p>■マイクロソフト社製品 製品使用権説明書(SPUR) https://www.microsoft.com/ja-jp/Licensing/licensing-programs/spla-program.aspx ※マイクロソフト社のライセンスは年に1回の製品使用権及び費用の変更が行われるため、毎年、サービス料金に変更になる場合があります。予めご了承ください。</p> <p>■レッドハット社製品 ソフトウェアサブスクリプション契約(クラウドでのエンドユーザー用) https://www.redhat.com/licenses/cloud_cssa/Cloud_Software_Subscription_Agreement_Japan.pdf ※製品使用権及び費用の変更が行われた場合、サービス料金に変更になる場合があります。予めご了承ください。</p>
テンプレート発行	コミュニティテンプレート発行規約 https://www.idcf.jp/cloud/pdf/IDCFCloudCommunityTemplateGuide.pdf

5.2 契約の単位

1つのアカウントが契約可能なリソースにつき、1契約とします。

5.3 契約期間・最低利用期間

本サービスの契約期間及び最低利用期間は以下となります。

5.3.1 契約期間

課金タイプ	契約期間
従量タイプ/月額上限付き従量タイプ	期限の定め無し
月額タイプ	本サービス利用契約の契約期間は、課金開始日から月末日までとします。ただし、本サービス利用契約は、約款に定めるほか、お客様が期間満了時において、本サービスに係る当社所定のウェブサイトから即時に更新しない旨の意思表示をしない限り、さらに1か月間自動的に更新されるものとし、以後も同様とします。

5.3.2 最低利用期間

本サービスに最低利用期間はありません。

5.4 契約変更

仮想マシンタイプの変更等による契約変更月のサービス料金はそれぞれの契約に基づいた料金が適用になります。

5.5 解約通知

お客様は、いつでも本サービスに係る当社所定のウェブサイトから本サービス利用契約を即時に解約することができます。ただし、月額タイプは月中でサービスを終了させることが可能ですが、その場合でも本サービス利用契約は月末解約となり、月額料金は日割りされません。また、サービス終了日が月末でなくても、それ以降は使用することができませんので予めご了承ください。なお、契約期間については「5.3.1 契約期間」、サービス料金については「4.1 料金計算」に従います。

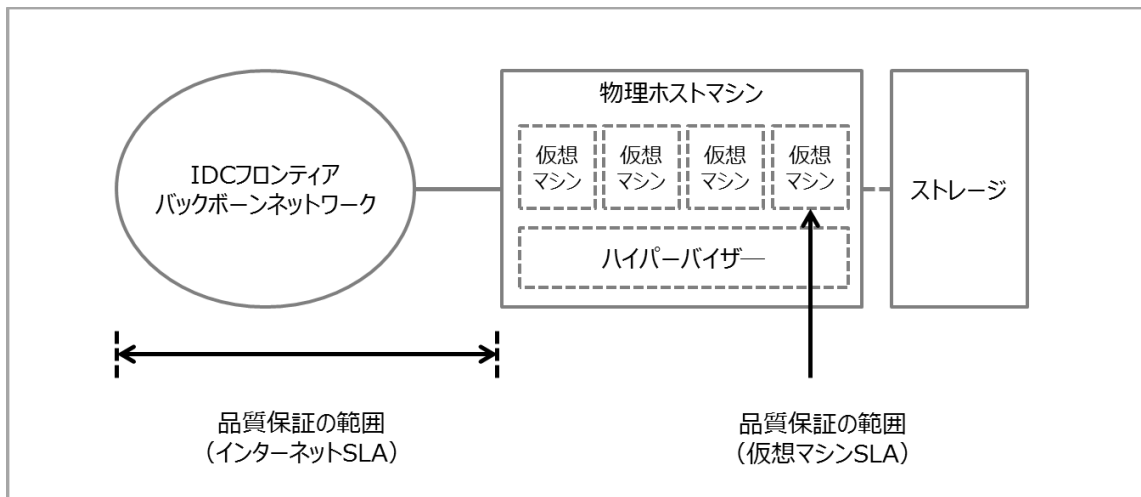
5.6 SLA (Service Level Agreement: 品質保証制度)

本サービスは下記に定める品質を保証し、これに満たない場合にはサービス料金の減額を行います。

※品質保証の基準を満たせなかった場合に当然に当社の過失が推定されるものではありません

5.6.1 品質保証の範囲

本サービスの品質保証制度は下記の範囲内で提供します。



※システム構成を簡略化しているため、実際のシステム構成とは異なります。

■対象プラン

仮想マシンタイプ	仮想マシン SLA	インターネット接続 SLA
低コストタイプ/標準タイプ/ハイ CPU タイプ/ハイメモリタイプ	●	●
HighIO タイプ/GPU BOOST タイプ (ハードウェア専用マシン)	×	×

5.6.2 仮想マシンの稼働率に関する品質保証(仮想マシン SLA)

仮想マシンとして提供するコンピューターリソース(CPU、メモリ、ディスク)が利用可能な時間を仮想マシン稼働時間とし、月間における稼働時間の割合(稼働率)が99.999%以上であることを保証します。当社が規定する測定の結果、その保証値に満たない場合には、下記の定めに従い本サービス利用契約のサービス料金を減額します。

基準値	減額の上限
月間仮想マシン稼働率が99.999%未満となった場合	該当する仮想マシンの仮想マシン費用および仮想マシン関連オプション費用の月額費用(税抜)の10%

※仮想マシンの稼働時間はイベントログにより監視します。

※故障・障害に拠らないサービス利用中の仮想マシンの停止時間は仮想マシンの稼働時間に含まれます。

※ここでいう月額費用とは当該利用月のお客様が支払うべき月額費用(クーポン等の値引きがある場合は値引き後の金額)をいいます。以下同じ。

5.6.3 インターネット接続の可用性に関する品質保証(インターネット接続 SLA)

仮想マシンを構成する物理ホストマシンがインターネットに接続可能な時間をインターネット接続稼働時間とし、月間における稼働時間の割合(可用性)が 99.999%以上であることを保証します。当社が規定する測定の結果、その保証値に満たない場合には、下記に定めに従い本サービスの利用契約サービス料金を減額します。

基準値	減額の上限
月間インターネット接続可用性が 99.999%未満となった場合	該当する本サービス利用契約の月額費用(税抜)の 10%

※本規定では、物理ホストマシンのインターネット接続状態を可用性計測用仮想マシンへの 1 分間隔の疎通確認により実施します。

5.6.4 減額の制限

- 品質保証の基準値は暦月の初日から末日までの期間において測定します。
- 減額申請は品質保証の事項ごとに毎月 1 回限りの申請が可能です。
- 減額となる月額費用は、減額対象となる月のお客様が支払うべき月額費用額となります。
- 品質保証に基づくサービス料金の減額は、次項に定める Severity1 のサービス提供状態のみとなります。

■ Severity の設定

当社は本サービスの提供の状態について、下記に定める基準に従い、Severity を設定します。

Severity	定義
Severity1	全面的にサービスが提供不可となった場合
Severity2	部分的にサービスが提供不可となった場合
Severity3	上記以外

5.6.5 免責事項

品質保証の基準に該当する事実が下記事由により生じた場合には、品質保証の対象とはなりません。

- (1) サービスの導入に関連して発生した場合
- (2) 稼働時間の算定がお客様の計測のみにより認められる場合
- (3) メンテナンス(緊急メンテナンスを含む)の場合
- (4) 本サービス用設備及び当社のバックボーンネットワーク以外の故障による場合
- (5) 外部からの攻撃、妨害等による場合
- (6) その他、不可抗力による場合

5.6.6 除外事項

以下の各号のいずれの事由の場合も、本規定の品質保証及び減額の対象となりません。

- (1) 減額の対象となる本サービス利用契約が無償利用期間又はトライアルサービス利用時の場合
- (2) 仮想マシン及び仮想マシンのインターネット接続の稼働時間に影響を及ぼさないシステム(管理系・監視系サーバー等)の故障又は障害
- (3) 仮想マシンにインストールされる OS やソフトウェアの故障又は障害の場合
- (4) コンピューティングリソース(CPU、メモリ、ディスク)やインターネット接続のパフォーマンスの劣化
- (5) インターネット接続の故障・障害により仮想マシンの利用ができない場合には仮想マシン SLA は適用されません。(インターネット接続 SLA のみが適用されます。)
- (6) 仮想マシンを構成する物理ホストマシンの故障・障害により仮想マシンのインターネット接続が利用できない場合にはインターネット接続 SLA は適用されません(仮想マシン SLA のみが適用されます。)
- (7) 本サービスの機能としての中断(仮想マシンのフェールオーバー機能等)
- (8) ネットワーク(定額プラン)の契約・廃止に伴う機器設定変更時の通信断にはインターネット接続 SLA は適用されません。
- (9) 仮想ルーターにインストールされた Mackerel エージェントが起因の通信断が発生した場合

5.6.7 故障又は障害の覚知

当社は、お客様のご連絡又は当社独自の調査により、品質保証に係る事由を覚知した場合は、トラブルチケットを発行し、お客様に対して当該チケット番号を連絡します。お客様の当社へのご連絡方法は、当社所定の手続きによります。

5.6.8 減額申請

お客様は減額申請を希望される場合には、該当するトラブルチケット番号に基づいて当社所定の申請書を当社に提出いただく必要があります。当社は申請内容を確認し、これを受理した場合には原則として減額対象となった月の翌月分のお客様に対して請求する月額費用から減額を実施いたします。但し、障害発生の時期や契約状況によっては翌月以降に実施される場合があります。

減額申請の提出期限はその事由が生じた日から 14 日以内に行っていただく必要があります。お客様から当社所定の申請書の提出がない限り、減額を行うことはありません。

5.7 ご利用上の制限および注意事項

サービス契約約款に定める利用上の制限及び注意事項のほか、本サービスに関して、以下の利用上の制限及び注意事項があります。

サービス全般

- 常時多量のトラフィックをご利用するお客様に対しては、事前予告無く通信を制限または遮断することがあります。
- 本サービスはサービス提供に必要なハードウェア及びソフトウェアは当社が必要に応じて不定期に変更することがあります。変更についての通知は当社の判断によって約款上定められた方式で行います。また、変更についての通知には、必要に応じてシステムの変更についての技術的な説明を行います。
- 構築したアプリケーション等のデータはお客様に帰属いたします。これらのデータの保管はお客様の責任の下、バックアップ等を行うものとします。
- メンテナンス後のアプリケーションの正常性確認はしておりません。
- HA 機能対応の仮想マシンは、物理ホストマシンがダウンした場合は、サーバーのフェイルオーバー機能により別サーバーに移行し、仮想マシンが再起動します。本機能に対応していないアプリケーションの場合は、お客様側で作業が必要となります。
- お客様の通信利用状況（非常に小さなコンテンツの配信など）によってはファイアウォールの負荷が高まり、仕様上、定められたネットワーク帯域の上限まで出ない場合があります。
- 仮想マシンの削除などのリソース削除を伴う操作はデータ消去され、復旧できません。実施前には十分ご注意ください。
- 仮想マシン・ボリュームのリサイズやリサイズに伴う有償ライセンスの変更などの契約変更を行うと、変更後の申込内容が新規契約となり新たに課金が行われます。
- サービス契約約款に定める禁止行為のほか、料金の課金を不当に免れる意図で、濫用的にアカウントやリソースを増減する行為を禁止します。お客様がこれらの禁止行為を行った場合、当社はお客様に催告の上、本サービスを一時停止するか、又は本サービスに係る利用契約を解除することができます。
- 本サービスはリージョン毎に下表のリソースに関する制限があります。当該上限値はお客様のご依頼に基づき引き上げが可能な場合があります。詳細は別途、お問い合わせください。

ハードウェア専有マシン

- ハードウェア専有マシンのデータディスクはスナップショットに対応していません。
- ハードウェア専有マシンの仮想マシンは SSD の書き込み上限回数の監視や、PCI 拡張デバイス (ioMemory、GPU 等) の故障検知及び書き込み上限回数の監視は含まれません。また、当社がハードウェアを交換する場合はお客様に仮想マシンの移設を実施いたします。
- ハードウェア専有マシンの仮想マシンは物理サーバーを専有するサービスであり、当社はストレージ領域のバックアップやレプリケーションを実施していません。お客様自身で冗長化等のデータ保全やリストア作業を実施ください。
- ハードウェア専有マシンで使用するハードウェアは変更する場合があります。
- ハードウェア専有マシンはメーカー在庫、当社在庫状況によりご提供できない場合があります。あらかじめご了承ください。

その他

- Mackerel の利用条件は、はてな社の利用規約に従います。
- Mackerel を使用することで送信されるシステム情報は、はてな社が管理するサーバーへ収集され、はてな社により蓄積、集計されます。
- Mackerel エージェントの不具合により生じた不利益及び損害について当社は一切責任を負いません。
- 当社の作成・制作に係らないソフトウェア等については、製造・販売元の変更によりサービス内容に変更やサービス終了が行われる場合があります、お客様はそれに従うものとします。

リージョン毎のリソース上限

項目	リージョン毎の制限	説明
仮想マシン数	20	作成可能な仮想マシン数の合計
CPU コア数	800	利用可能な CPU コア数の合計
メモリ容量 (GB)	3200	利用可能なメモリ容量の合計
パブリック IP アドレス数	21	ソース IP アドレスを含む、利用可能な IP アドレス数の合計
ボリューム数	40	仮想マシンおよび仮想ルーターのルートディスク、データディスクの合計
プライマリストレージ (TB)	20	利用可能なルートディスク/データディスクのディスク容量の合計
セカンダリストレージ (アーカイブデータ) (TB)	20	利用可能なテンプレート/スナップショット/テンプレートのディスク容量の合計
テンプレート数	1,000	作成可能なテンプレート数の合計
スナップショット数	1,000	作成可能スナップショット数の合計

5.8 免責事項

サービス契約約款に定める免責事項のほか、本サービスに関して、以下の免責事項があります。

- 本サービスの利用により、顧客が登録したデータの改竄、削除、滅失、消去等により生じた損害及びお客様の逸失利益については、当社は一切その賠償責任を負わないものとします。
- サーバー上に設置される顧客が作成したコンテンツ、プログラムの動作により生じた損害に対しても、当社は一切その賠償責任を負わないものとします。

5.9 その他

本書の記載事項及び本書に記載がない事項については、サービス契約約款の各条項及び各規定が優先的に適用されます。